



前田宗久先生・新院長の紹介

平成 28 年 7 月住吉稔先生が  
退任され、種子島産婦人科医院  
は新院長に前田宗久先生が就任  
され、新しい体制となりました。

前田先生は、平成 27 年 7 月  
種子島に着任されました。その  
前は熊本赤十字病院に約 8 年勤  
務しています。鹿大医学部を卒  
業後、奄美大島の県立病院で研  
修する中で、「地域医療」に関  
心を持つようになったそうで  
す。

種子島で産婦人科の医師とし  
て働くことを決意した理由は、  
大学病院や島内の病院との連携  
が取れていることや、また助産  
師が増え、病院を支える体制が  
整っていたことです。

今後院長として、島の人にと  
って本土の治療費の経済的負担



軽減のために、こ  
れまでよりは島内でいろいろな  
検査や治療を受けられるよう努  
め、また、島内唯一の産婦人科  
診療所ということもあって、当  
院でも中絶には応じているもの  
の、できる限り減らすために島  
民への性教育をしっかりと行  
い、意識改革を図りたいと考  
えておられます。

実は、父親が種子島出身と、  
種子島とのご縁が深い前田先  
生。現在、元気な 3 人のお父  
さんでもあり、種子島の暮らしを  
楽しんでいます。



おめでとうございます

2016 年

お産の状況(里帰り出産)

8 月	18 人 (5 人)
9 月	13 人 (3 人)
10 月	17 人 (7 人)
11 月	13 人 (3 人)

お産件数(年間)

2009 年	249 人
2010 年	258 人
2011 年	220 人
2012 年	236 人
2013 年	229 人
2014 年	221 人
2015 年	206 人
2016 年	128 人

(11 月末現在)

ボランティアグループあ  
い・愛は、種子島産婦人  
科医院を応援します。種  
子島で安心して出産でき  
る環境や、女性の健康を  
守る種子島産婦人科医院  
が今後も継続していける  
よう、お手伝いします。



12 月はクリスマスツリーを飾  
りました。



月ごとに、季節感を出した折り紙やイラストカードを作り、温かくリラックスできる病室の雰囲気づくりと、また「おもてなし」の気持ちを表現しています。

★ 9月 ぶどうと柿



★ 10月 紅葉と落ち葉



★ 11月 コスモス



★ 西之表市在住の古田友也・育代さん。12月14日「乙之友(おとのすけ)」君が誕生しました。



★ 里帰り出産の「橙舞(とうま)」君。坂井順平・絢美さんに11月1日誕生しました



種子島の新しい病院でお産。親元で安心できる里帰り出産を、あなたもしませんか？

★ 東京から種子島へ移住してのご出産。内藤淳之介・歩さんの「民詞(たみじ)」君は12月26日誕生しました



◆ 病院では、未使用のタオルを集めています。また、手作り人形や折り紙などの作品もご寄附ください。みんなで、病院を応援しましょう。最寄りのボランティアグループ役員にご連絡ください。

◆ 全国ニュースで有名な「タイガーマスク」さんからもクリスマスプレゼントが届き、引き続き新年を祝っています。



**ボランティアグループあい♡愛 会員を募集しています。**

私たちは、池田産婦人科医院が閉院する事に大変驚きました。そして種子島でお産できる環境を守るためには、お産する人だけではなく、島民みんなと一緒に協力することが大切だと痛切に感じました。また、婦人科があることは、島の女性の健康を守ることです。ボランティアグループあい♡愛は種子島産婦人科医院を応援する女性有志のグループです。みなさんの参加やご支援をお願いします。

賛助会員募集中。年会費 1,000 円で、ニュースレターをお届けします。

問い合わせ先： 西之表市・長野広美 (携帯 090-3109-4488)

中種子町・戸田和代 (携帯 090-5737-1176)

南種子町・名越多喜子 (携帯 090-5289-8786)